

新入社員、新たな船出

新年度が始まった1日、西濃地域の企業でも入社式が行われた。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、各社は対策を徹底。ビデオ会議アプリを活用したり、規模を縮小して時間の短縮を図るなど例年とは違う形での実施となったが、いつもと変わらず、新たなステージでの活躍を誓うらしい表情の新入社員たちの姿が見られた。(古家政徳)

◇西濃運輸

○…大垣市田口町の西濃運輸は、ビデオ会議アプリを活用して実施。新入社員190

人のうち総合事務職62人はそれぞれの自宅から、営業乗務社員ら128人は全国の配属先店舗からオンラインで参加した。

辞令交付は氏名の読み上



ビデオ会議アプリを活用して入社式を進行する西濃運輸人事部の担当者＝大垣市田口町、同社本社

◇大垣共立銀

○…大垣共立銀行を中核としたOKBグループは、大垣市郭町の同行本店で新入社員歓迎式として実施。出席は新入社員118人(同行93人、関連会社25人)のうち7人、役員らも予定より11人減らし7人とした。

境敏幸頭取は同行に入社する平塚菜月さん(22)に辞令を交付し、「OKBは時代とともに変わっていく。若い力で順応し、チャレンジする勇気、めげない根性を持って面白くビジネスをし、楽しく生活してほしい」と訓示。新型コロナウイルス終息後に改めて入社式を行う考えを示した。同



OKBグループの新入社員歓迎会で誓いの言葉を述べる竹中一生さん＝大垣市郭町、大垣共立銀行本店

行に入社する竹中一生さん(22)は「お客さまや仲間と手を携え、地域に貢献する。これを合言葉に、仲間と鍛え合い、地域に貢献できる大きな力となる」と誓いの言葉を述べた。

◇太平洋工業

○…太平洋工業は大垣市久徳町の本社で規模を縮小し行った。同社の新入社員80人の子会社でソフトウェア開発のピーアイシステム(同市加賀野)の3人が出席、参列する役員を減らしたほか、時間も短くした。

小川信也社長は「自動車産業は100年に1度の大転換期のまっただ中。情熱を持って新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献する企業を目指していく」とし、「若者らしく情熱と向上心を持って挑戦してほしい」と激励した。

◇大垣西濃信金

○…大垣西濃信用金庫は大垣市恵比寿町の本店で実施、新入職員は17人で、席の間隔を広げるなどの感染対策を講じて行った。

栗田順公理事長は「素直に学び続ける▽失敗を恐れずチャレンジし続ける▽ワーク・ライフ・バランスを意識し続ける」の心掛けを呼び掛けた上で「今日の新鮮な気持ち忘れず、仕事に取り組んでほしい」と期待を込めた。